

BOOK MEETS NEXT IN HIROSHIMA 事業報告

広島市立中央図書館

1 事業名

BOOK MEETS NEXT IN HIROSHIMA

2 目的

BOOK MEETS NEXT は、本との新しい出会いを提供するために、秋の読書推進月間に全国規模で行われるキャンペーンである。2022 年に開始し、書店、出版社、取次等が協力し、読書の楽しさを広めべく様々なイベントを行っている。

今年度初の開催となる広島では、身近に本に触れることができる機会を市民に提供し、読書へのきっかけを作ってもらうことを目的に、書店等に加え市立図書館も参画し開催した。

3 主催等

(1) BOOK MEETS NEXT IN HIROSHIMA 実行委員会

広島県書店商業組合、トーハン広島支店（取次）、日本出版販売広島支店

(2) 共催

広島市立中央図書館

(3) 後援

広島県教育委員会、広島市教育委員会

4 日時

令和 6 年 11 月 4 日（月・祝）11 時～17 時

5 会場

ひろしまゲートパーク大屋根広場（広場の半分を使用・400 m²）

6 参加人数

延べ 920 名

7 内容（●：中央図書館が主に企画したもの、○：中央図書館が協力したもの）

(1) 図書閲覧コーナー 移動図書館車「ともはと号」がやってくる！●

ア 実施内容

・「ともはと号」に積載している本の閲覧

対象：どなたでも

定員：なし

イ 成果等

・準備段階から人が集まり始め、終了まで賑わった。

・親子連れの来場者が多かった。

・「ともはと号」やブックトラックに積載した本を手にとって閲覧される方も多かった。

・「ともはと号」のアピールの場となった。

・実行委員会が招いた作家の稲田幸久氏からの申し出により、絵本の読み聞かせをしていただいた。

・参加者からは「移動図書館車を子供に見せたくて参加した」、「ともはと号を間近に見た子供が大興奮だった」等の声が寄せられた。

(2) ワークショップ「未来の移動図書館車を描いてみよう！」●

ア 実施内容

・「ともはと号」の解説とワークショップ（計3回実施）

対象：幼児、児童、生徒

定員：各回10名（当日先着順）

・ワークショップの完成作品の展示

期間：令和6年11月9日（土）～12月8日（日）

場所：中央図書館2階展示ホール前

イ 成果等

・未就学児を中心に、1歳から18歳までの子供とその保護者が参加した。

・3回とも全て定員に達した。

・移動図書館車の役割について、理解を深めてもらうことができた。

・定員に達した後、参加できなかった親子のため、ワークショップ実施時間以外は「お絵描きコーナー」として開放した。

・完成作品は、中央図書館の企画展「図書館と基町のこれまでとこれから」会場に展示することで、市民参加型の企画展となった。

・参加者からは、「子供の年齢差に関係なく楽しく参加することができた」、「子供が移動図書館車のお絵描きを楽しんでいた」等の声が寄せられた。

(3) 広島ドラゴンフライズ寺嶋選手選書！○

ア 実施内容

・広島ドラゴンフライズ寺嶋選手のおすすめ本（9冊）を寺嶋選手のコメントとともに紹介

対象：どなたでも

定員：なし

イ 成果等

・令和4年度からの図書館事業での連携を新たな事業に活かすことができた。

・広島ドラゴンフライズから寺嶋選手のイメージ画像をいただき掲示したことで、目を引くコーナーとなった。

・多くの方がコメントを読み、おすすめ本を手にとっていた。

(4) 昔あそび体験コーナー○

ア 実施内容

・折り紙を折ることができるスペースとけん玉で遊ぶスペースを設けた。

対象：どなたでも

定員：なし

イ 成果等

・中央図書館で幼児・小学生向けの折り紙の本を提供し、コーナーで活用した。

・多くの親子連れが参加した。

(5) 白熱！青少年ビブリオバトル！

ア 実施内容

- ・青少年ビブリオバトル（計 2 試合実施）

対象（観戦者）：どなたでも

定員：なし

イ 成果等

- ・バトラーとして高校生や大学生など 6 人が出場し、若い世代を取り込んだ事業となった。
- ・多くの方が観戦・投票し、おすすめ本についての質疑応答も活発に行われた。

(6) 読み聞かせコーナー○

ア 実施内容

- ・絵本の読み聞かせや手遊び（計 2 回実施）

対象：どなたでも

定員：なし

イ 成果等

- ・読み手については、こども図書館から読み聞かせボランティアグループに依頼した。
- ・多くの親子連れが参加された。

8 まとめ

BOOK MEETS NEXT IN HIROSHIMA は、開始時刻前から終了時刻まで多くの来場者で賑わい、活気に満ちていた。中央図書館が主に企画したものは、「中央図書館基町開館 50 周年・移動図書館車「ともはと号」巡回開始 60 周年」の記念事業の一環として位置付けた事業である。書店組合等と連携することで、ひろしまゲートパーク大屋根広場という集客力の高い場所で実施することができ、また、中央図書館主催以外の本に関わるイベントが同時に行われることで、より魅力的な事業となった。

図書館、広島県書店商業組合、トーハン広島支店等、本に関わる団体が、組織の枠を超え一丸となり、読書推進と図書館及び書店等の活性化に向けた取組の充実を図ることができた。広島県書店組合等からは、今後も様々な形で連携・協力していきたいとの申し出があった。

今年 6 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2024（骨太方針 2024）」においては、このたび初めて「書店と図書館等との連携促進等を含む文字活字の振興」および「書店の活性化」が盛り込まれたところである。

広島市立図書館としても、一層の読書推進、活字文化の振興に向けて、様々な団体との連携を深めていきたい。